

わかやま 和歌山を創る新聞 かつく

Vol.187
2018.5.18

SDGs 国連・持続可能な開発目標
Gs を知ろう バックナンバー集
2017年に連載しました、「SDGsを知ろう」の連載記事をバックナンバー集としてまとめました。各種教材としてご活用下さい。
「わかやま」バックナンバー掲載ページ http://www.wnc.jp/wakatsuku/ から PDF で入手できます。



最新の人口予測、人口減少の「濃淡」鮮明に

国立社会保障・人口問題研究所は3月30日、2015年国勢調査結果などを元にした、2045年までの全国市町村別・5歳区分別の推定人口を発表しました。全体として、5年前に発表された前回の推定より人口減少の幅は緩やかになっているものの、自治体によっては減少の具合が加速しているとされましたが、和歌山県内の市町村について数字をひろってみても、同様の傾向がうかがえました。

さて、最新の推定で和歌山県内の市町村はどのようになっているのでしょうか。

Table with 10 columns: 2015年, 2020年, 2025年, 2030年, 2035年, 2040年, 2045年, 対15年比. Rows include 和歌山県, 和歌山市, 海南市, 紀の川市, 岩出市, 紀美野町.

今年3月発表の人口推定から、本紙配達エリアの市町村の5年ごとの推移。年少人口は15歳未満、生産人口は15～64歳、高齢人口は65歳以上。「対15年比」は、2045年の推定値と2015年の人口の比較。

Table with 10 columns: 減少幅上位, 2015年, 2020年, 2025年, 2030年, 2035年, 2040年, 2045年, 対15年比. Rows include 1 九度山町, 2 高野町, 3 紀美野町, 4 すさみ町, 5 由良町, 減少幅下位, 1 日高町, 2 岩出市, 3 上富田町, 4 有田川町, 5 和歌山市.

特に九度山町や高野町は前回推定よりもさらに2割以上人口が減少するとの見込みです。また、海南市・紀の川市も和歌山県全体を上回るペースで人口が減少し、海南市では間もなく高齢人口自体の減少が始まります。

推定人口自体は前回推定よりも多くなった和歌山県も、今後25年で約2割人口が減少するとの見込みです。2040年時点ではなんと30万人をキープできそうですが、2045年にはついに30万人を割り込む予測です。

ひるがえって、わたしたちの身の回りでは、自治会や消防団、PTAなどといった地域に存在してきた各種組織の担い手不足、一人暮らし高齢者の増

人口減少が進む地域では自治会をはじめとした地域内組織の抜本的な見直しや、行政と住民との関係の再構築など、様々な取り組みが試行されている事例もあります。自治会等の単位でも「持続可能なまちづくり」を本気で検討し、取り組む時期が迫っています。(志場久起)

県内の人口減少は、下の表は、前回発表の推定人口、左の表は今回発表の新推定人口となっています。まず見比べていただきたいのは前回推定時点での和歌山県の2040年の人口が72万人不足するのに対して、新推定においては2040年人口は73万人あまりと約1万5千人ほど減少幅が緩やかになっています。「わかやま」第159号記事でもご紹介しましたが、人口減少の傾向は緩やかになっていることがこの推定でも裏付けられた形となっています。

さらに下表を見ると、有田川町や日高町、川町や太地町では高齢化に影響を及ぼしたものとみられます。和歌山市も1割ほど推定人口が増加しており、和歌山市北部や東部での人口転入が影響していると考えられます。ただ、これらは人口減少の傾向が鈍化していることが示されただけであ

り、今後の人口は減少することには変わりないので注意が必要ですが、逆にも前回推定よりもさらに人口減少が進むと予測された自治体も少なくありません。特に九度山町や高野町は前回推定よりもさらに2割以上人口が減少するとの見込みです。

また、海南市・紀の川市も和歌山県全体を上回るペースで人口が減少し、海南市では間もなく高齢人口自体の減少が始まります。推定人口自体は前回推定よりも多くなった和歌山県も、今後25年で約2割人口が減少するとの見込みです。

ひるがえって、わたしたちの身の回りでは、自治会や消防団、PTAなどといった地域に存在してきた各種組織の担い手不足、一人暮らし高齢者の増

人口増加地域である岩出市は今後25年は人口5万人を維持できそうですが、高齢人口が今後急増する見込み。人口構成が大きく変わることに留意が必要です。

そして、いずれの自治体でも年少人口・生産人口は高齢人口を上回るペースで減少します。2045年推定人口に基づいて算出した高齢化率は和歌山県全体は39.8%、和歌山市35.2%、海南市43.1%、紀の川市43.8%、岩出市35.4%、紀美野町62.6%といずれも現在の高齢化率からおよそ10〜20ポイントほど上昇します。人口全体が大きく減少するなかで高齢化率が上がることについては、まちづくりの担い手となる層がさらに薄くなることを意味し、場合によっては2〜3年前に全自治体が策定した「人口ビジョン」の見直しが求められる

この人口推定は、これまで地域に当たり前のよう存在していた様々な仕組みの維持どころか、その存続すら危ぶまれることを示唆しています。都市の様々なインフラの維持・管理の問題も今後急速に拡大していく懸念もあります。

加、安心して子どもを産み育てられる仕組みづくりなど、様々な問題が顕在化しており、「持続可能なまちづくり」の道筋は見えていないと必ずしもいえません。

みんなで作る情報板
わかやまイベントボード
●国際交流フェスティバル 2018
日時 5月26日(土) 10:30～11:30
場所 和歌山市中央コミュニティセンター2階活動室
●講演会 AI の最新活用事例と未来-AI は私たちに何をもたらすのか-
日時 5月30日(水) 14:00～16:00
●古民家ギャラリーあつたか
日時 5月21日(月) 10:00～15:00
●かみしばいとよみかたり会
日時 5月21日(月) 10:00～15:00

Table with 7 columns: 2015年, 2020年, 2025年, 2030年, 2035年, 2040年. Rows include 和歌山県, 和歌山市, 海南市, 橋本市, 有田市, 御坊市, 田辺市, 新宮市, 紀の川市, 岩出市, 紀美野町, かつらぎ町, 九度山町, 高野町, 湯浅町, 広川町, 有田川町, 美浜町, 日高町, 由良町, 印南町, みなべ町, 日高川町, 白浜町, 上富田町, すさみ町, 那智勝浦町, 太地町, 古座川町, 北山村, 串本町.



このほかの情報もたくさん掲載!
「わかやまイベントボード」
URL http://eventboard.shiminkujuku.jp/